

- あくしゃうつ(倦む 持て余す 辟易する 嫌になる 迷惑だ 厄介だ 困る)  
 あくわーんとしとる(口を大きく開けている)  
 あぐっちゃけ(口を大きく開けろ)  
 あごうっだす(顎を出す へたばる くたばる 伸びる)  
 あしふみざきんなか(踏み入る隙間がない)  
 あす一っさるく(遊んで回る)  
 あすっぎゃどんけ一な一(遊びにでもおいでよ)  
 あすびぎゃくるけん(遊びに行きますから)  
 あせがる(焦る 急き立てる 気をもむ)  
 あせくる(掻き回す: 詮索する)  
 あたする(徒<sup>いたずら</sup>する 邪魔する)  
 あちゃんなる あてんなる(邪魔になる)  
 あっちゃこっち(反対に あべこべに)  
 あばかん あばつきらん(あふれる たくさん)《日ポ》  
 あぶにゃーうっちんとこじやった(危うく死ぬところだった)  
 あぶらすむる あぶらすめる(精油する 搾油)  
 あゆっけ(歩いて来い)  
 ある一っへーうゑっくれ(洗って干しておいてくれ)  
 あるば(それでは それならば)  
 あんつれんとんとんとつれんとん(あの種のもものが滅多に釣れないのだが)  
 あんびゃんわるか(不塩梅 不具合 調子が悪い)  
 いが(棘 赤ん坊:)《坂瀬川》  
 いくしえな いくっしえな(行くので)《佐伊津》  
 いさな(我が家 拙宅)《上島》  
 いたうゑっか(行ってから)《下浦》  
 いたちくう(行って来よう)  
 いたちくうたい(行ってきますよ)  
 いたちくって(行ってきますから)  
 いちやもんつくる(言いがかりを付ける 難癖)  
 いどりがく(汚れの跡が付いている)  
 いかかかってかたづくる(総動員で片付ける)  
 いかかかる(降り掛かる)  
 いっしょたくり(一緒くた ごちゃ混ぜ 混ぜ合わせ)  
 いっちょんこられんとん(全く来ないが)  
 いらりーろ いらりーろ(要るだろうか)  
 いれっくれらりいろ いれらりーろ(入れてくれるだろうか)  
 うーばんぎゃ(大雑把だ 無謀だ 迂闊(うかつ)だ いい加減だ)《日ポ》

うしのうた (無くした 紛失した)  
うろつく うろんころん (徘徊する 彷徨する 歩き回る さまよう)  
うんずりめんずり (次第に 徐々に その内に)  
うんぶくるい うんぶくるる (溺れる)  
えずらしか (不気味だ 大仰だ)  
えだんいたか (肢が痛い 肩が痛い)  
えっとんこたなか (大したことはない)  
おいがすいで (俺がするから) 《牛深》  
おずーだ (目を覚ました)  
おぜーこつ (大変気の毒なこと)  
おちよくる (からかう)  
おったったい (居たのですか 居ました)  
おととととたー (奪っているのだよ)  
おめーてみろ おめんいろ (大声で呼んでみろ)  
おりやわりや われわりやわりや わりやちゅうもねわりや  
わりもわりやおれわりやわりやわりや ちゅわじゃわりや  
(俺はお前のことを「お前・お前」と気安く呼ぶんだから  
お前も俺に「お前・お前」と呼んでくれよ)  
おれんじゃん (俺もだよ)  
かーんかんちーた (蚊が刺した)  
かきくーけー (柿を食べますか)  
かしえしえろ (加勢：手伝え)  
かじえぐすんのかじえひーとる (薬の薬効がなくなっている)  
かつくわんかん (柿を食べませんか)  
かつとしゅう (次々に)  
がまじゃーてきばる (精を出して働く)  
きいっくって (聞いて来るから) きいっけ (聞いて来い)  
きくどもん (利くだらうね 利くと思うよ)  
きさんなか (気散じ：お構い無し)  
きたろうば (来たならば) きたろうもん (来たのでしょうか)  
きつとごゆんな (悪巫山戯するな)  
きばらすばいな きばんなすか きばんなっせ (勢が出ますね)  
きもだえ (心労：気疲れ)  
きゃーほりぎやいかんきゃー けーほりげーいかんけー  
(貝掘りに行かないか)  
きゃーしんみゃー (裏返しに)  
くいーくいーさるくな (食べ歩くな)  
くうきゃー くうけー くうなー くうねー (食べるか：食べますか?)  
くーな (食べるな) くーっくー (食べてこよう)  
ぐーらしか ぐらしか (愚かしい 可愛そうだ)

くっちゃろかい くりーろ (来るだろうか)  
くっだっど (下さるだろう) くっだれん (呉れない) 《竜ヶ岳》  
ぐらりする (がっかりする 落胆する 失望する)  
くれっくっどな 《竜ヶ岳》 くれっくれえ (遣って下さい)  
くわん (食べない) くわんかん (食べないか) 《島子》  
けがすっどん (怪我するぞ)  
こいもん (香物 お新香) 《茶北》  
こけけ ここさんけ (ここに来い)  
ごちゃんいたか (五体が痛い 背中が痛い)  
こんかのう こんかん こんきやあ こんけえ (来ませんか)  
こんくらしゃー (このように暗いのに)  
こんてんとんとんととれんとん  
(この型のものが殆ど捕れないのだが)  
こんやだこんや こんやこんや (今夜にでも来ませんか)  
さかさみやなす (逆さにする 天地逆にする)  
さぐたましか (落ち着きが無く騒々しい)  
ささっとっどさい (刺さっているのだよ)  
させんせんせん (させてくれないからしない)  
さっささっさんせんじゃん (手早くなさらないからですよ)  
さっしーろ さりーろ (なさるだろうか)  
さりく さるく (歩き回る)  
さるくったー (歩き回るのだ) 《佐伊津》  
さんくりかえる (三転 転倒する 転げ回る)  
しーとる (好きだ)  
しーとる (空いている)  
しいならん (出来ない) 《上島》  
しいまい 《牛深》 しいまえ しまえ (しなければならぬ: 担当 義務)  
したもねーろ (した方がよいものだろうか)  
しなゑーた しなゑやーた (仕直した)  
じゃからじゃま じゃらじゃま (違くないよ)  
…じゃがや …じゃんば (…ですよ) 《牛深》  
じゃっじゃっ じゃっちゃん じゃっどさい (その通りだよ)  
じゃろう じゃろが (そうでしょう)  
しゅうーだ (しまししょう することにしよう)  
しゅうみゃーだ しゅうめーだ (しないことにしよう)  
しゅうる (吸う) しゅうれ (吸え)  
ジョンがごたっどじょん (幼い子どもみたいだよ 幼稚だよ)  
しんのしまり (最終的に)  
すいちゃがや すいっちゃがや (するのだ) 《牛深》  
すーした (空気が抜け) すーする (空気が抜ける)

すーすーするせんせけ（隙間風が入るから戸を閉めろ）  
ずーり（沿って 伝って）  
ずーんする（体温が急に下がる）  
すすりこむ すする（吸い込む 吸う）  
すっからかん（素寒貧）  
すっかんがす すっくわんがす（抜き取る）  
すっちやいろ（するのだろうか）  
すっちやかいや（するのではないだろうか）  
すっでたー（するからだよ）  
すっどもん すっちやろもん（するのでしょうか）  
すりーろ（するだろうか）  
ずるずるづる（次々と出る）  
するせん（しますから） すっちゃん（しるんだ）  
するっしえな（するので）《佐伊津》  
するっばな するっぺえ（するのだよ）《佐伊津》  
するみゃーもん（しないでしようよ）  
せーてせかん（急ぐが緊急ではない）  
せからしか（うるさい 面倒だ）  
せしかう（忙しく働く 急いで準備する）  
せせらせられん（触れさせる訳にいかない）  
せっくわんくわんかん（赤飯を食べないか）《島子》  
せぶらかす（からかう）  
せにゃん せんぼんと（しなければならぬ）  
せんせんじゃん（しないでからだよ）  
せんちやろもん せんどもん（しないでしよう）  
せんとう（しないのですか）  
せんもん（しないでよ）  
そどやがや（大騒動だよ）《牛深》  
そびく（しょっ引く 無理に引っ張る）  
そびっこむ（引きづり込む）  
ぞんぞろびく（だらしなく引きずる）  
たたったー たたっととたー（崇っているのだ）  
だんだんなー（有り難うね）  
ちーつくれ（注いで下さい）  
ちーつけ（同行しなさい 付いて来い）  
ちちーちーとと（父に付き添っているのです）  
ちーんちーとる（血が付いている）  
ちゃんくわら（安物 不良品）  
ちゅうりこうり（ちょっとやそつとでは）  
ちよいちよい ちよくちよく（頻繁に 時々）

ちょうじょう (重畳 ありがとう)  
ちょこらかす (からかう)  
ちよつこらちよ一つと (短兵急に 性急に)  
チョンガー【総 角】《朝鮮》 少年の髪型 ②独身男性  
ちんかジョンととんかジョン (小さな坊やと大きい方の坊や)  
ちんかも (親友 幼馴染み 仲間 仲睦まじい関係)  
ちんぐ ちんぐう (親友 幼馴染み 仲間)《韓国》  
ちんごまんご (曲がりくねった)  
ちんだはんだ (途切れ途切れに)  
つうえか (費える 不経済だ)  
つこかす (落とす) つこきやーた つっこきやーた (落とした)  
つこきやーた つっこきやーた (落とした)  
つっくわんげた (抜けた)  
つったつとんなな (呆然と立ったままでいるな)  
つっぱったつじゃがや (海に落ちたのだよ)《牛深》  
つらなし (照れ屋 恥ずかしがり屋)  
つんつらかす (摘み散らす)  
つんつるてん (つるつるに禿げた様子)  
つんなもだ (連れ立って行こう)  
つんぶるう (振り解く)  
て一げて一げでよかて一 (大雑把でよいのに)  
とうかとな どうかっかな どうかんな (遠いのですか)  
とうつたあつ (一つ二つ) どうりたーり (一人二人)  
どうろこうろ (どうにかこうにか どうやら)  
とぜんなか (徒然ない 暇で退屈 寂しい)  
とつけむなか (とんでもない 途方もない 意外 思い掛けない)  
とつとつとー とつとつと (取っているのですか 取っています)  
とつとつともとつと (取っているとでも思っているのか)  
ととこれかたまれ (一カ所に集まれ)  
どぼくるる (先端が潰れる)  
どもこも どんこん (どうにもこうにも 如何にしても)  
とんととれんとん (全く穫れないが)  
なかなかなかな (案外と無いね)  
なわのうた (縄を纏った)  
なかたなか (何でもある 何でも揃う)  
なにして一ん (おやまあ)《大多尾》  
なわのうた (縄を纏った)  
なんかかかる (もたれ掛かる)  
なんかたなかかな (長いのは無いですか)  
なんかなかな (何か無いか)

なんぎゃとととたー (投げ遣っているのだ)  
なんじゃかんじゃ (何や彼や)  
なんしゅうに (何をしようか 不要だ)  
なんなんな なんなんかな (何々ですか)  
なんもかんも (何も彼も)  
ぬーだろにゆう (飲んだら寝よう 飲んで眠ろう)  
ぬーどっど (酒を飲んでるな)  
ぬーんみゆうだ のーんみゆうだ (飲んでみよう)  
ねぎる ねぎっとる (睨み付けている) 《手野》  
ねまる (腐敗する ②寝る 《日ポ》)  
のさっとる (幸運だ 宿命を負っている 授かっている)  
のすこっじゃか (耐えられない 我慢できない)  
はげらしか (歯痒い 面倒だ 焦れたい)  
はちくる (こちらから行く) はちけ (おいで)  
はちげんはる (大洞吹く：自慢する)  
はってく (果て行く 逝ってしまう 行く 死ぬ)  
はってけ (もう行きなさい) はってこ (もう行こう)  
ばななかな ばななな ばななばな (バナナですか)  
はよペー (急いで食べなさい)  
ばんかな (食べませんか) ばんとか (食べないのか)  
ぱんなろふう (パンなら食べる)  
ばんばらげ (視界の妨げがない)  
ぴーなっせ (召し上がれ)  
ひちやかちや ひちやくわちや (無茶苦茶)  
ひっかんがす ひっくわんがす (引き抜く)  
ひっちやかましか (うるさい 面倒だ)  
ひっちやこっち (逆さに)  
ひのいちんち ひのいっちんち (一日中)  
ひよっとすれば (もしかすると)  
ひんごまんご (曲がりくねる くねくね)  
ひんのうだ (飲み込んだ)  
びるのもだ びんのもだ (ビールを飲みましょう)  
ふあんびゃー (不塩梅：体調不良)  
ぷーてみろ (食べてご覧) ぷーとか (食べるのか)  
ふれーへーる (風呂へ入る 入浴する) 《佐伊津 五和》  
ペー (食べる)  
へきんいたか (肩癖けんぺきが痛い)  
ぽーかい (食べようか) ぽーだな (食べましょうよ)  
ほたゆる (巫山戯る：騒ぐ)  
まぎる (曲がる カーブを切る)

まっこんがやる（真っ向から回転する 前転）  
みーみーせろ（時々見張れ）  
みーっぱっとんな（何もしないで眺めているな）  
みかんぱんのよか（見栄えがよい）  
みがんのゆうなりやした（気候が穏やかになりましたね）  
みせびらかす みせぶらかす（見せて自慢する）  
みぞがりころす（溺愛する）  
みたむなか（見とうもない みっともない）  
みどころはん（大雑把 中途半端 いい加減）  
みゃーすつくる みゃーすとる（阿る おべっかを言う）  
みゆうみゃーもん（見ないだろうよ）  
むーらしか（蒸し暑い）  
むぞげ むぞなげ（可哀相に 気の毒 痛ましい）  
むなつけ（つまみ食い）  
むねにこん 納得できない 理解できない 思い当たらない  
めーかからん めかからん（見えない 見付からない）  
めーすかたる めーすとる（おもねる へつらう おべっかをいう）  
めしゃぼん ぼんなろぷう（ご飯は食べない。パンなら食べる）  
めのもーた めんもーた（目眩がした）  
もいよっちゃんばー（漏れているのだもの）《牛深》  
もーたーんもーとる（モーターが回っている）  
もだえろ（急げ）  
もだゆんな（急ぐな：狼狽えるな）  
もでっけ（戻してこい：返しなさい）  
やーたやーくわんやー（焼いたバリは食べませんか）  
やいやまたやーやー やーたやーはくいやーた  
（おやおやまたバリですか 焼いたバリは食べ飽きた）  
やおいかん やはいかん（容易ではない 苦勞する）  
やかましか やぜらしか（うるさい 面倒だ）  
やじえらしか やじらしか（うるさい 面倒だ 鬱陶しい）  
やっこせ（ようやく）  
やももすもももものうち（山桃もスモモも桃のうち）  
やりもせ（遣り申せ：差し上げろ）  
ゆうつかする（言っかけて聞かせる）  
ゆうともなか（言いたくもない 無益だ）  
ようじゃらしか よだらしか《島子》（散らかして 乱雑）  
よかちょうらい（都合いいことに いい具合に）  
よかろうもん（いいでしょう）  
よかろうで（いいだろうに）  
よしーしていっちょる（よいことにして我慢している）

よそわしか (様相悪い 不潔 汚い)

よったーり (四人)

よっとっと (寄っているのです)

りゅうけんなか (料簡なし: 恥ずかしい)

わいがくいでじゃがや (お前が来るからだよ) 《牛深》

わーがわーがでわーがよかごていっちえろ

(各自で好きなようにするがよい)

わせんむこどん (春雷 稲妻)

わんぎする (浮気)